

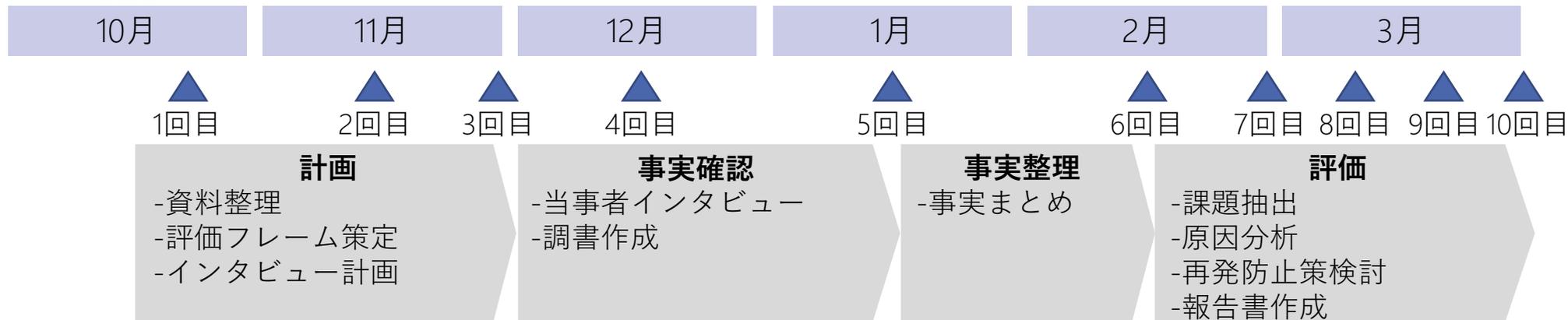
委員会の進め方(事務局提案)

2016年10月25日

電力広域的運営推進機関

今後の委員会開催は次のスケジュールにしているかどうか。

H.28年度



回数	日程	議題
第1回	10/25(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の進め方について ・広域機関システムの開発経緯 ・評価対象(機能、時期、体制)と評価フレーム
第2回	11/16(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価フレームについて(確定)
第3回	11/25(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテーマと対象者について
第4回	12/20(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー中間報告について ・追加インタビューテーマと対象者について
第5回	1/中ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー結果について
第6回	2/中ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・事実整理結果について(報告書3章までの確認)
第7回	2/末ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の方向性について
第8回	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書レビュー1回目
第9回	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書レビュー2回目
第10回	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の理事報告会

報告書目次案

■ 1. はじめに

■ 2. 評価の概要

■ 2.1. 目的

■ 2.2. スケジュール

■ 2.3. 体制

■ 2.4. 評価対象

■ 2.5. 評価フレーム

■ 評価プロセスについて整理する

評価対象と評価フレームは本日の議題4で議論し、第2回目委員会にて確定してはどうか。

■ 3. 事実関係の整理

■ 3.1. システムの現状

■ 3.2. 事象発生に至る経緯

■ 3.3. ドキュメント、証跡類

■ 3.4. インタビュー調書

■ 事実関係について整理する

収集したドキュメントに加え、当事者のインタビュー結果を踏まえて認定した事実をまとめる。

■ 4. 評価

■ 4.1. 課題抽出

■ 4.2. 再発防止策

■ 4.3. 評価まとめ

■ 事実に基づき、再発防止策を提言する

再発防止策は、実効性・説得力のあるものとし、実現性に乏しいものは盛り込まない、としてはどうか。

例)

- ・ 多大な費用又は期間を要するもの(システム作り直し等)
- ・ 国の制度を見直す必要があるもの

■ 5. 結論